

# 令和5年度の試験研究の主な成果



令和6年7月3日  
福島県農業総合センター



# 農林水産業の試験研究推進方針に基づく試験研究課題

(5つの試験研究の基本方向に沿った令和3～7年度の研究課題(9つの大課題))

農業総合センター

## 1 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化による農林水産業の再生を支援するための試験研究の推進

- (1) 農業における総合的な放射性物質対策の研究開発  
(放射性物質の分布状況の把握、吸収抑制技術の確立、特定復興再生拠点区域等の営農再開に向けた技術実証)
- (2) 避難地域等の営農再開を支える技術の実証  
(営農再開を支援する現地実証、大規模水田営農の技術開発、施設野菜・畑作物の省力高収益栽培技術の開発、先端プロ技術の社会実装)

## 2 農林水産業の生産力を強化するための、先端技術を活用した技術開発等の推進

- (3) 先端技術を活用した新たな農業生産技術の開発  
(ロボット開発、スマート農業技術の開発、先端技術を活用した省力化技術の開発)

## 3 県産農林水産物の競争力を強化するための、「ふくしま」ならではの価値向上に資する品種開発等の推進

- (4) 市場ニーズに対応したオリジナル品種・系統と生産技術等の開発  
(オリジナル品種の育成、新品種の栽培技術の確立、家畜改良)
- (5) 農産物を「ふくしま」ならではの製品にする技術の開発  
(県産農産物の利用技術の開発、輸出拡大に向けた技術開発、「福島牛」ブランド強化技術の確立、地域特産物の栽培・流通技術の確立)

## 4 地球温暖化等の気候変動に対応し、環境と共生する農林水産業を進めるための技術開発等の推進

- (6) 気候変動に対応し農業生産の安定化に寄与する技術の開発  
(高温条件下や温暖化に対応した技術の確立、作柄解析)
- (7) 環境負荷を低減する農業生産に資する研究開発  
(中山間地の農地管理技術の開発、病害虫防除技術の開発、有機農産物の栽培技術の確立、環境負荷低減技術の開発)

## 5 安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者の所得向上のための試験研究の推進

- (8) 産地や経営体において収益性を高める技術の研究開発  
(水稻・大豆などの畑作物の安定生産技術の確立、野菜・花き・果樹の安定生産技術の確立、会津・浜通りに適した作物・園芸品目の生産技術の確立、畜産の安定生産技術確立)
- (9) 農産物の安定供給に寄与する鳥獣被害防止・病害虫防除等に係る研究開発  
(鳥獣被害対策技術の確立、農作業事故防止技術の確立、新奇・難防除病害虫の防除技術の開発、病害虫のAI診断技術の確立、新農薬・新資材の実用化試験)

令和5年度課題数

中課題：37、小課題：130

(→ 細目課題 → 細々目課題)